

羽根森林資源活用拠点（仮称）における土地利用構想案に対する
パブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和5年1月16日（月）から同年2月15日（水）まで

2 意見募集の周知方法

広報はだの1月1日号及び市ホームページ

3 構想案の公表方法

- (1) ホームページへの掲載
- (2) 公民館、図書館及び駅連絡所における閲覧
- (3) 本庁舎行政情報閲覧コーナーにおける閲覧
- (4) 森林ふれあい課における閲覧

4 意見提出方法

郵送、FAX、電子メール及び持参の方法による

5 提出された意見の内容及びその取扱い等

| 内容分類 | 件数 | 意見への対応区分（※） | | | | |
|----------------|----|-------------|---|----|---|---|
| | | A | B | C | D | E |
| 第1章 はじめに | | | | | | |
| 第2章 本拠点をとり巻く状況 | | | | | | |
| 第3章 基本コンセプト | 3 | | | 3 | | |
| 第4章 土地利用構想 | 14 | 1 | 2 | 7 | | 4 |
| 第5章 構想の実現に向けて | 7 | | 1 | 5 | | 1 |
| その他全般 | 7 | | | 5 | | 2 |
| 計 | 31 | 1 | 3 | 20 | | 7 |

※ 意見への対応区分

- A：意見等の趣旨等を構想に反映したもの
- B：意見等の趣旨等は既に構想に反映されていると考えるもの
- C：今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
- D：構想に反映できないもの
- E：その他（感想、質問等）

羽根森林資源活用拠点(仮称)における土地利用構想(案)に対する意見一覧

| No. | 構想案 該当箇所 | 意見・提案等の概要 | 区 分 | 意見等に対する考え方 |
|-----|--------------|--|-----|---|
| 1 | 第3章 | 東京や横浜から散策や木工体験で人を呼ぶより、森林経営の振興の方が大切と考える。林業を持続可能な産業とすることは重要で、県の水源税がある現在は他県に比べて整備は進んでいるが、なくなったときにどうするか考えなければいけない。 | C | 基本コンセプトを踏まえ、林業振興に資する施設となるよう、検討していきます。 |
| 2 | 第3章 1 | 表丹沢野外活動センターを含めた、周辺施設等と連携した方針となるようにしていただきたい。また、誘客の部分充実させ、施設運営者が自立した経営ができるようにしていただきたい。 | C | いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。 |
| 3 | 第3章 1 (3) | 民間活力の導入はいいと思うが、参画させる時機をしっかりと捉えてほしい。 | C | 今後のヒアリング等を通じ、時機を逸しないよう努めていきます。 |
| 4 | 第4章 1 | 製材所の設置を主とする施設の立地だが、なぜそれに決まったのか。ほかの魅力づくりの施設はできないのか。他の案はあったのか。 | E | 土地利用のコンセプトである「森林資源の活用拠点を軸とした環境共生に資する土地利用」の実現に必要な施設を検討したものであり、魅力づくりにつながる関連施設についても検討していきます。 |

羽根森林資源活用拠点(仮称)における土地利用構想(案)に対する意見一覧

| No. | 構想案 該当箇所 | 意見・提案等の概要 | 区 分 | 意見等に対する考え方 |
|-----|-------------|---|-----|--|
| 5 | 第4章 1(1) | スポーツ目的がなくなっがっかりだが、人が来たいと思う施設としてほしい。 | C | 表丹沢の魅力づくりにつながる拠点としての機能を発揮できる施設の検討を行います。 |
| 6 | 第4章 1(1) | 表丹沢の魅力は自然の豊かさであり、人工的なものはいらない。ここを拠点として菜の花台まで尾根伝いで行ける。生物の多様性が感じられる場がいい。 | C | 他の施設等とも連携し、表丹沢の魅力を発信できる施設となるよう取り組んでいきます。 |
| 7 | 第4章 1(1) | 新東名ができたのだから、人を集めるなら駐車場は必須。食べるところがあるといい。中途半端になるのはいけないので、あれもこれもではなく欲張らずに他所にないインパクトのあるものを作ってほしい。 | C | 民間の活力を活用して、費用対効果に留意ながら検討していきます。 |
| 8 | 第4章 1(1) | 給食残渣を活用したメタン発電所の設置を検討できないか。 | C | 森林資源の活用拠点を軸とした検討を進めているため、現時点では想定していません。 |
| 9 | 第4章 1(2) | アスレチックがある公園を中心に、アウトレットなどのショッピングモール、レストラン、温浴施設、映画館などのある、一日中家族みんなで過ごしたくなる複合施設を提案します。 | C | 施設の建設に当たっては、市街化調整区域内の開発行為にかかる規制を踏まえ、基本コンセプトを具現化する施設を検討してまいります。 |

羽根森林資源活用拠点(仮称)における土地利用構想(案)に対する意見一覧

| No. | 構想案 該当箇所 | 意見・提案等の概要 | 区 分 | 意見等に対する考え方 |
|-----|-------------|--|-----|---|
| 10 | 第4章 1(2) | <p>コンセプトを表現するには、”また行こう”と思わせるような環境の提供に対して、検討をより深めてはいかかでしょうか。</p> <p>例えば、E-BIKEツアーに初心者だけでなく、スキルアップコースのバリエーションを隣接させることや、対象をMTBなどに広げることで、人が集まる循環ができるのではないのでしょうか。</p> | B | <p>情報発信機能の一環として、いただいた御意見を参考に、リピーターが増える施設内容を、民間活力の導入を図りながら検討してまいります。</p> |
| 11 | 第4章 1(2) | バイオマス発電の規模はどのようか。 | E | <p>本拠点の導入施設から排出される廃木材等を導入施設内で活用することを想定しています。</p> |
| 12 | 第4章 1(2) | <p>落ち葉の収集はぜひやってほしい。栃木県茂木市では、高齢者が落ち葉を集めそれを売っている。多少の費用は掛かっても高齢者を呼び込んでほしい。鳥獣やヤマビル対策にもなる。</p> | B | <p>地域住民が落ち葉などを収集したときに、その対価として電子地域通貨のポイントを付加するなどの取組みを検討していきます。</p> |
| 13 | 第4章 2(1) | <p>建築に使用する木材に、人工林のスギやヒノキをどんどん使ってほしいです。</p> | A | <p>御意見を参考に、施設建築物における木材の利用に関する表現を加筆します。</p> |
| 14 | 第4章 2(1) | <p>西側隣接地との連携の可能性にも配慮するとあるが、現状どのようか。</p> | E | <p>がけ地の処理で出る土砂を西側に埋めることができれば費用を抑えられることから申し出があれば、検討を進めます。</p> |

羽根森林資源活用拠点(仮称)における土地利用構想(案)に対する意見一覧

| No. | 構想案 該当箇所 | 意見・提案等の概要 | 区 分 | 意見等に対する考え方 |
|-----|-------------|---|-----|-------------------------------------|
| 15 | 第4章 2(1) | 北側の崖地だけではなく、南側の法面の整備も検討していただきたい。 | C | 安全対策等に必要な整備を検討していきます。 |
| 16 | 第4章 2(2) | 人に来てほしい期待はあるが、自然を残しながら用地を活用してほしい。人の手を加えるところと残すところを分けて土地利用を検討してほしい。 | C | いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。 |
| 17 | 第4章 2(2) | がけをコンクリートで固めて処理すると、見栄えが悪い。 | E | 景観に配慮した工法を検討していきます。 |
| 18 | 第5章 1(4) | ヒアリング等を行い、進出を希望する事業者が確実に構想に加わるように進めてほしい。 | C | 今後のヒアリング等において、参画の意向を確認します。 |
| 19 | 第5章 1(4) | 費用対効果をよく検討し、施設の効用を市民に享受させてほしい。造成計画や民間協力について、計画のための計画にならないよう実効性があるものとしてほしい。 | C | 造成費の圧縮や活用できる補助金の検討を進め、費用を抑えるよう努めます。 |
| 20 | 第5章 1(4) | 民間のかかわり方や莫大な費用が掛かることで、新東名の開通はチャンスではあるがどの程度の誘客が見込めるのか。第2の表丹沢野外活動センターにならないような取組みをしてほしい。 | C | いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。 |

羽根森林資源活用拠点(仮称)における土地利用構想(案)に対する意見一覧

| No. | 構想案 該当箇所 | 意見・提案等の概要 | 区 分 | 意見等に対する考え方 |
|-----|-------------|---|-----|--|
| 21 | 第5章 1(4) | 誘客施設の選定にあたって、拠点内の小規模バイオマス発熱・発電施設からの熱源を活用するよう、条件を付けることはできないか。 | C | いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。 |
| 22 | 第5章 1(4) | 民間活力はどのように使おうと考えているか。 | B | 令和5年度に土地利用構想の実現化方策の検討を行うなかで具体的な活用方法を検討していきます。 |
| 23 | 第5章 2 | プロセスの中で、民間活力の導入がはっきりしてくるのはいつか。 | E | 令和5年度にサウンディング調査を行うなどして、令和6年度には明らかにしていきます。 |
| 24 | 第5章 2 | 計画策定を一度始めるとそれをやめる方法がない。費用対効果をしっかり検討し、やめるプランも立てるべき。また、業者が撤退するときの条件は、募集の段階で周知すべき。決して荷物にならないように。 | C | いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。 |
| 25 | その他全 般 | スポーツ広場の計画が森林資源を活用する計画に変更されたが、その総括はできているか。 | C | スポーツ広場としての活用方針から転換しましたが、スポーツ機能の充足等については、スポーツ施策全体の中で考え方を整理することとしています。 |

羽根森林資源活用拠点(仮称)における土地利用構想(案)に対する意見一覧

| No. | 構想案 該当箇所 | 意見・提案等の概要 | 区 分 | 意見等に対する考え方 |
|-----|-------------|--|-----|--|
| 26 | その他全 般 | 神奈川県森林組合連合会との関係はどの ようか。 | E | 神奈川県森林組合連合会は、市場として丸太の販売をして いることから、この拠点で導入を想定している製材・加工施 設が仕入れる流れを構築することができれば、木材の地域循 環につながります。 |
| 27 | その他全 般 | 里山ふれあいセンターの機能はどうする のか。 | C | 再配置計画第2期基本計画では、施設更新の優先度は低い と考えているため、施設の廃止も選択肢としています。 間もなく建物の耐用年数を迎えますが、機能を他施設へ移 転することを含め、里山ふれあいセンターのあり方について は検討していきます。 |
| 28 | その他全 般 | これができたら、里山ふれあいセンター はいらなくなるのでは。 公共施設の再配置計画上支障はないか。 | E | 再配置計画第2期基本計画では、施設更新の優先度は低い と考えているため、施設の廃止も選択肢としています。 間もなく建物の耐用年数を迎えますが、機能を他施設へ移 転することを含め、里山ふれあいセンターのあり方について は検討していきます。 |
| 29 | その他全 般 | このような構想を作るなら、稼げる自治 体を目指してほしい。地元金融機関に出資 してもらうことで、その金融機関から事業 のチェックを受けることもできる。 | C | いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。 |

羽根森林資源活用拠点(仮称)における土地利用構想(案)に対する意見一覧

| No. | 構想案 該当箇所 | 意見・提案等の概要 | 区 分 | 意見等に対する考え方 |
|-----|-------------|--|-----|----------------------------|
| 30 | その他全 般 | ヒト、モノ、事業所のネットワークを作ることが成功のカギ。市にコンダクターになってほしい。 | C | いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。 |
| 31 | その他全 般 | 自然環境への影響がないよう取組んでほしい。 | C | いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。 |